#### 別紙-1①

# 考 査 項 目 別 運 用 表 (建築工事)

考查項目	細 別	a	b	С	d	е
1. 施工体制	I. 施工体制一般	□ 優れている	□ 良好である	□ 適切である	□ やや不適切である	□ 不適切である
		配布が受け払い簿等により適切に打 二 元請業者が、下請業者の施工結果、 □ 現場における施工体制に対し、本3	載されている。 載されている。 彦理を含む)が、書面と一致している。 がなされ施工している。 の趣旨を下請業者等に説明するとともに、 巴握されている。	している。	□ 施工体制一般に関して、監督員から文書による改善指示を行った。	<ul><li> □ 施工体制一般に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</li></ul>
	評価値	評価値が80%以上90%未満・・b	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象項目」のうち、評価対象 理価項目数を母数として計算した比率(3) 評価値(%)=該当項目数()/[④ なお、評価対象項目数が2項目以下の対象項目数が2項目以下の対象項目数が2項目以下の対象項目数が2項目以下の対象項目数が2項目以下の対象項目数が2項目以下の対象項目数が2項目以下の対象項目数が2項目以下の対象項目の対象項目数が2項目以下の対象項目	(%)計算の値で評価する。 評価対象項目数 ( )		
	Ⅱ. 配置技術者	□ 優れている	□ 良好である	□ 適切である	□ やや不適切である	□ 不適切である
	(現場代理人等)	□ 書類及び資料が適切に整理されてい □ 作業環境、気象、地質条件等の把 □ 工事に必要な専門技術者を選任し、 □ 作業に必要な作業主任者を選任し、 □ 主任(監理)技術者として技術的判 □ 施工体制、施工状況を把握し、下 □ 施工等に伴う提案又は工夫をもつ	告、協議等を書面で行っている。 揚に反映して工事を行っている。 1項(以下、「契約書第18条」という。 いる。 屋及び対応に努めている。 配置している。 配置している。 断に優れ、良好な施工に努めている。 請け、部下等をよく指導している。	)に基づく設計図書の照査を行っている。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	□ 配置技術者に関して、監督員から文書による 改善指示を行った。	□ 配置技術者に関して、監督員からの文書 による改善指示に従わなかった。
	評価値	評価値が80%以上90%未満・・b	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対 ② 評価項目数を母数として計算した比率 ③ 評価値(%)=該当項目数()/ ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の約	(%)計算の値で評価する。 評価対象項目数 ( )		

(監督員)

別紙-1②

考 杳 項 目 別 運 用 表 (建築工事)

(監督員)

					: 木 土 チ /	(1)
考查項目	細 別	a	b	c	d	е
2. 施工状況	I. 施工管理	□ 優れている	□ 良好である	□ 適切である	□ やや不適切である	□ 不適切である
		●評価対象項目		•		
		□□ 契約書第18条に基づく設計図書の月	預査結果について、協議を行っ	ている。	□ 施工管理に関して、監督員から文書による改善 善指示を行った。	□ 施工管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。
		□□ 施工計画書が、工事着手前(計画F	内容に変更が生じた場合を含む	) に提出されている。	音道がそれった。	よる以音用がに使わながった。
		□□施工計画書が、設計図書及び現場	条件を反映した内容となってい	る。		
		□□施工計画書に、出来形・品質確保の	りための記載がある。			
		□□施工計画書に基づき、出来形・品質	質の管理を、常時適切に行って	いる。		
		□□施工図作成にあたり、関連工事とi	<b>≧滞なく、調整が十分に図られ</b>	ている。		
		□□工事打合せ書等の工事記録の整備が	び、適時に行われている。			
		□□施工計画書の記載内容と現場施工	<b>方法が、一致している。</b>			
		□□一工程の施工の検査・確認の報告が	び、適時に行われている。			
		□□現場内での整理整頓が、常時行われ	<b>いている。</b>			
				材」という)の調達の計画及び搬入後の管理が適	切である。	
		□□社内検査が計画的に行われている。				
		□□ 独自のチェックリスト等の管理基準	<b>準により、管理されている。</b>			
		□□低騒音、低振動及び排出ガス対策		ている。		
		□□建設廃棄物の処分及び建設副産物の				
		□□「施工プロセス」のチェックリス				
		□□その他 理由:		1.4.7.0.0.00.0		
						†
		●判断基準	<ol> <li>当該「評価対象項目」のうむ</li> </ol>	<ul><li>が評価対象外の項目はチェックしない。</li></ul>		
	評価値	評価値が90%以上・・・・・a				
	A 1 100 100	評価値が80%以上90%未満・・b				
			④ なお、評価対象項目数が2円			
		評価値が60%未満・・・・・d		,		
	Ⅱ. 工程管理	□優れている	□ 良好である	□ 適切である	□ やや不適切である	□ 不適切である
		<ul><li>●評価対象項目</li></ul>				
		□□実施工程表が工事着手前に提出され	<ol> <li>関連工事との調整も適切に</li> </ol>	行っている。	□ 工程管理に関して、監督員から文書による改	□ 工程管理に関して、監督員からの文書に
		□□現場での工程管理を詳細工程表や			善指示を行った。	よる改善指示に従わなかった。
				入居官署等に対し、影響を及ぼす工程の遅れがな	V <sub>2</sub>	
		□□現場または施工条件の変更への対応				
		□□工程に関する各種制約等があるに		ズに作業を行っている。		
		□□受注者の責による夜間や休日の作		1-11/2/2017 - 11- 00		
		□□休日・代休の確保を行っている。	3 0			
		□□近隣住民(入居官署等を含む)との	D調整を積極的に行い 円滑か	丁事准捗を行っている。		
		□□「施工プロセス」のチェックリス				
		□□ その他 理由:	, , ,			
					I	†
		●判断基準	① 当該「評価対象項目」のうな	<ul><li>、評価対象外の項目はチェックしない。</li></ul>		
	評価値	評価値が90%以上・・・・・a				
		評価値が80%以上90%未満・・b				
		評価値が60%以上80%未満・・c	④ なお、評価対象項目数が2円	頁目以下の場合は c 評価とする。		
	ĺ	評価値が60%未満・・・・・d				

考查項目	細別	a	b	с	_ , ,	d	е
2. 施工状况	Ⅲ. 安全対策	□ 優れている	□ 良好である	□ 適切である		□ やや不適切である	□ 不適切である
			度置し、1回/月以上活動し、記録が をし、記録が整備されている。 と事項について、速やかに改善を図り 工実施し、記録が整備されている。 、記録を整備している。 等に現場の特性が反映され、記録が整 安全管理の措置をしている。 直機と人の行動範囲の分離措置がなさ なび管理がチェックリスト等を用いて を用いて を用いても を用いても を用いても を用いても を用いても を用いても を用いても を用いても を用いても を用いても を用いても を用いても を用いても を用いても をは、記録が整 のは、記録が整 のは、記録が整 のは、記録が整 のは、記録が整 のは、記録が整 のは、記録が整 のは、記録が整 のは、記録が整 のは、記録が整 のは、記録が整 のは、記録が整 のは、記録が整 のは、記録が整 のは、記録が整 のは、記録が を を と している。 のは、記録が を と している。 のは、記録が を と している。 のは、記録が を と している。 は している。 し し は し し し し し し し し し し し し し	□ 適切である 整備されている。 、かつ関係者に是正指示している。  備されている。 れている。 たちる。 実施されている。 ト等を用いて実施されている。	※該当すれば c 評価  □ 安全対策に関して、 法令遵守の措置内容  に該当する場合。	□安全対策に関し	
	評価値	評価値が90%以上・・・・・a 評価値が80%以上90%未満・・b	① 当該「評価対象項目」のうち、評価 ② 評価項目数を母数として計算した比 ③ 評価値 (%)=該当項目数() ④ なお、評価対象項目数が2項目以下	☆率(%)計算の値で評価する。 /評価対象項目数 ( )			
	IV. 対外関係	□ 優れている	□ 良好である	□ 適切である		□ やや不適切である	□ 不適切である
		●評価対象項目 □ 工事施工にあたり、関係官公署等の□ 工事施工にあたり、近隣住民(入長□ 引渡し時に入居官署に対し、保守管□ 工事の目的及び内容を、工事看板だ□ 近隣住民(入居官署等を含む)対対□ 現場のイメージアップに、取り組/□ 「施工プロセス」チェックリストの□ その他 理由:	居官署等を含む)と適切に協議及び調 管理について適切な説明を行っている。 などにより地域住民や通行者等に分り 養を実施し、苦情がない。または苦情 しでいる。	整を行っている。。 やすく周知している。 に対して適切な対応を行い、以後のトラブルがない	ν <sub>°</sub> ,	□ 対外関係に関して、監督員から文書による改善指示を行った。	対外関係に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。
	評価値	評価値が90%以上・・・・・a 評価値が80%以上90%未満・・b	① 当該「評価対象項目」のうち、評価 ② 評価項目数を母数として計算した比 ③ 評価値 (%)=該当項目数() ④ なお、評価対象項目数が2項目以下	本字(%)計算の値で評価する。 /評価対象項目数 ( )			

考查項目	細別	а	b	С	d	е
	I. 出来形	□ 優れている	□ 良好である	□ 適切である	□ やや不適切である	□ 不適切である
3. 出来形及び 出来ばえ	建築(AEM共通)	●評価対象項目				
, ,,,,,,,		□□ 承諾図等が、設計図書を満足してい	いる。	□ 出来形の管理に関して、監督員か ら文書による改善指示を行った。	□ 契約書第17条に基づき、監督員 が改造請求を行った。	
		□□ 施工図等が、設計図書を満足してい	いる。	り入音による以音相小を打りた。	が・改垣前水を行うた。	
		□□ 現場における出来形が設計図書を満	<b>靖足し、適切な施工である。</b>			
		□□ 施工計画書等で定めた出来形の管理	<b>基準に基づき、管理している。</b>			
		□□ 出来形の管理記録が適切にまとめら	っれており、結果が良好である。			
		□□ 出来形の管理方法を工夫している。				
		□□ 解体又は撤去工事の場合、撤去対象				
		□□ 不可視部分となる出来形が、工事等	写真、施工記録により確認できる。			
		□□ その他 理由:				
		●判断基準	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象	身外の項目はチェックしない。		
	評価値	評価値が90%以上・・・・・a	② 評価項目数を母数として計算した比率(	%)計算の値で評価する。		
		評価値が80%以上90%未満・・b	③ 評価値 ( %) =該当項目数 ( ) /計	平価対象項目数 ( )		
		評価値が60%以上80%未満・・c	④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場	易合は c 評価とする。		
		評価値が60%未満・・・・・d				
			位置、数量並びに管理記録と設計図書を対け	とすることにより評価を行う。		

別紙-1(5)

#### 老 杏 項 目 別 運 田 表 (建築丁事)

(監督員)

細 別 . 品質	а	b	С	d	е
. 品質					=
	□ 優れている	□ 良好である	□ 適切である	□ やや不適切である	□ 不適切である
必須	●評定に対応するシートを下記の中かり	ら必ず選択(チェック) して、以降の診			
	〇建築工事のみ				
	○電気設備工事・受変電設備工事のみ				
	○暖冷房衛生設備工事・機械設備工事のみ				
	〇 複合工事 (下記より選択)				
	<del>-</del> ·				
	□暖冷房衛生設備工事・機械設備工事				
		<ul> <li>○建築工事のみ</li> <li>○電気設備工事・受変電設備工事のみ</li> <li>○暖冷房衛生設備工事・機械設備工事のみ</li> <li>○複合工事(下記より選択)</li> <li>※選択した考査項目運用表にチェック</li> <li>□建築工事</li> <li>□電気設備工事・受変電設備工事</li> <li>□販冷房衛生設備工事・機械設備工事</li> </ul>	<ul> <li>○ 建築工事のみ</li> <li>○ 電気設備工事・受変電設備工事のみ</li> <li>○ 腹冷房衛生設備工事・機械設備工事のみ</li> <li>○ 複合工事 (下記より選択)</li> <li>※選択した考査項目運用表にチェック</li> <li>□ 建築工事</li> <li>□ 電気設備工事・受変電設備工事</li> </ul>	<ul> <li>○ 建築工事のみ</li> <li>○ 電気設備工事・受変電設備工事のみ</li> <li>○ 酸合房衛生設備工事・機械設備工事のみ</li> <li>○ 複合工事 (下記より選択)         ※選択した考査項目運用表にチェック         □ 建築工事         □ 電気設備工事・受変電設備工事         □ 吸冷房衛生設備工事・機械設備工事</li> </ul>	<ul> <li>○ 建築工事のみ</li> <li>○ 電気設備工事・受変電設備工事のみ</li> <li>○ 複合工事 (下記より選択)</li> <li>※選択した考査項目運用表にチェック</li> <li>□ 建築工事</li> <li>□ 電気設備工事・受変電設備工事</li> <li>□ 暖冷房衛生設備工事・機械設備工事</li> </ul>

考查項目	細別	a	b	С	d	е
	Ⅱ. 品質	□ 優れている	□ 良好である	□ 適切である	□ やや不適切である	□ 不適切である
3. 出来形及び 出来ばえ	建築工事	●評価対象項目				
		□□材料・製品の品質が、製作図面等に	こより確認でき、設計図書を満足している	□ 品質の管理に関して、監督員から 文書による改善指示を行った。	□ 契約書第17条に基づき、監督員 が改造請求を行った。	
		□ □ 品質確認記録の内容が、適切である	<b>5</b> .		文音による以音相小を行うた。	が以垣間水を打つた。
		□ □ 施工の各段階における完了時の、品	品質が適切である。			
		□ □ 躯体工事における施工の品質が、自	見好である。			
		□ □ 内外仕上げ工事における施工の品質	質が、良好である。			
		□ □ 不可視部分となる品質確認のための	〇工事写真、施工記録等が整備されている	,		
		□□その他 理由:				
		※1.目的物の品質の水準を評価すること。				
		※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施	工が完了したもの(システムを含む)」があ			
		工事目的物の品質及び品質管理に関する各種	の記録と設計図書を対比することにより技術	<b>所的な評価を行う。</b>		
		※3. 1つの工事の中に建築工事・電気設備	工事・暖冷房衛生設備工事等の工種が2以	-複合している工事		
		については、原則として、それぞれの工種毎	に評価し、工事費内訳による加重平均などの	)方法によるものとする。		
		ただし、その工事において複合している工種	のうち、規模が小さく評定に影響を与えない	・工種については、		
		この限りでない。 (例:改修工事等において	含まれる軽微な付帯する工種)			
		●判断基準	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象項目」の	象外の項目はチェックしない。		
	評価値	評価値が90%以上・・・・・a	② 評価項目数を母数として計算した比率			
		評価値が80%以上90%未満・・・b	③ 評価値( %)=該当項目数( )/記	平価対象項目数 ( )		
		評価値が60%以上80%未満・・・c	④ なお、評価対象項目数が2項目以下の	場合はc評価とする。		
		評価値が60%未満・・・・・・d				

考查項目	細別	а	b	с	d	е
	Ⅱ. 品質	□ 優れている	□ 良好である	□ 適切である	□ やや不適切である	□ 不適切である
3. 出来形及び 出来ばえ	電気設備工事・	●評価対象項目				
HANGONG	受変電設備工事	□ □ 機材の品質が、承諾図等により確	認でき、設計図書を満足している。	□ 品質の管理に関して、監督員から 文書による改善指示を行った。	□ 契約書第17条に基づき、監督員が改造請求を行った。	
		□ □ 品質確認記録の内容が、適切であ	る。	文書による以音相小を行った。	が収垣前水を行うた。	
		□ □ 施工の各段階における完了時の試	験方法及び記録の方法が、適切である。			
		□ □ システムの性能及び機能に関する	試運転、確認方法等が適切であり、記	緑の内容が設計図書を満足している。		
		□ □ 機材及び施工の品質が、良好であ	る。			
		□ □ 不可視部分となる品質確認のため	の工事写真、施工記録等が整備されて	いる。		
		□□その他 理由:				
		※1.目的物の品質の水準を評価すること。 ※2.品質の対象は、「材料、機材」と「加工事目的物の品質及び品質管理に関する各種 ※3.1つの工事の中に建築工事・電気設備 については、原則として、それぞれの工種会 ただし、その工事において複合している工程 この限りでない。(例:改修工事等において	値の記録と設計図書を対比することにより 計工事・暖冷房衛生設備工事等の工種が2 に評価し、工事費内訳による加重平均な 値のうち、規模が小さく評定に影響を与え			
	評価値	●判断基準 評価値が90%以上・・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・b 評価値が60%以上80%未満・・・c 評価値が60%未満・・・・・d	③ 評価値( %)=該当項目数( )	率(%)計算の値で評価する。 /評価対象項目数 ( )		

考查項目	細 別	а	b	c	d	e
	Ⅱ. 品質	□ 優れている	□ 良好である	□ 適切である	□ やや不適切である	□ 不適切である
3. 出来形及び 出来ばえ	暖冷房衛生設備 工事・	●評価対象項目		·		
щуюче		□ □ 機材の品質が、承諾図等により確認	2でき、設計図書を満足している。	□ 品質の管理に関して、監督員から 文書による改善指示を行った。	□ 契約書第17条に基づき、監督員 が改造請求を行った。	
		□ □ 品質確認記録の内容が、適切である	5.		又者による以害指小を11つた。	が収垣前水を行うた。
		□ □ 施工の各段階における完了時の試験	食方法及び記録の方法が、適切である			
		□ □ システムの性能及び機能に関する記	ば運転、確認方法等が適切であり、話	2録の内容が設計図書を満足している。		
		□ □ 機材及び施工の品質が、良好である	5.			
		□ □ 不可視部分となる品質確認のための	)工事写真、施工記録等が整備されて	こいる。		
		□□その他 理由:				
		※1.機械設備工事とは、エレベーター、エ	スカレーター設備工事等の建設業法にお			
		※2. 目的物の品質の水準を評価すること。				
		※3. 品質の対象は、「材料、機材」と「施	工が完了したもの(システムを含む)」			
		工事目的物の品質及び品質管理に関する各種	の記録と設計図書を対比することにより			
		※4.1つの工事の中に建築工事・電気設備	工事・暖冷房衛生設備工事等の工種が2			
		については、原則として、それぞれの工種毎	に評価し、工事費内訳による加重平均な			
		ただし、その工事において複合している工種	のうち、規模が小さく評定に影響を与え			
		この限りでない。(例:改修工事等において				
		●判断基準	<ul><li>① 当該「評価対象項目」のうち、評価</li></ul>	価対象外の項目はチェックしない。		
	評価値	評価値が90%以上・・・・・a	② 評価項目数を母数として計算した!	比率(%)計算の値で評価する。		
		評価値が80%以上90%未満・・・b ③ 評価値 ( %) =該当項目数 ( ) /評価対象項目数 ( )				
		評価値が60%以上80%未満・・・c	④ なお、評価対象項目数が2項目以			
		評価値が60%未満・・・・・d				
		·				

7 Jay — 1 (9)			与 宜 垻 日 か	1 埋 用 衣(建築上尹)		(監管貝)
考查項目	細別	a	b	С	d	е
	Ⅱ. 品質	□ 優れている	□ 良好である	□ 適切である	□ やや不適切である	□ 不適切である
3. 出来形及び 出来ばえ	複合工事	●必ず下記の加重平均評価値よりチェッ	クする。		<ul><li>●1工種でも該当があれば、チェックする。</li></ul>	<ul><li>●1工種でも該当があれば、チェックする。</li></ul>
щинале	最大3工種				□ 品質の管理に関して、監督員から 文書による改善指示を行った。	□ 契約書第17条に基づき、監督員
		○評価値が90%以上・・・・・a			又書による以書指示を行った。	が改造請求を行った。
		○評価値が80%以上90%未満・・・b				
		○評価値が60%以上80%未満・・・c				
		○評価値が60%未満・・・・・d				
		●必ず下記の枠に工事費比率(0も記入)	を記入する。			
		工事費比率 該当項目率 加重平均評価	值			
		建築				
		電気				
		機械	%			
		-				

71.1467 1 700		为 且 · 及 日 <i>加</i> / 是 / 几 《 《 是 米 工 事 / )							(無日見)
考查項目	細別	工夫事項		●下	記の該当	頁目をチェ	ンク		
5. 創意工夫	I. 創意工夫	●準備・後片付け関係 □ 測量 位置出しにおける工夫 □ 現地調査方法の工夫 □ その他 理由: 詳細評価内容:							
		●施工関係 □施工に伴う器具・工具・装置類の工夫 □ 坩場加工製品等の活用による副産物及び廃棄物の減少またはリサイクルに対する積極的な取り組み □ 土工事・地業工業、鉄鋼建て方、コンクリート工事等の施工関係の工夫 □ 建築材料・機材等の運搬・搬入等を含む施工方法に工夫 □ 電気設備工事等の配練、配管等の工夫 □ 照明・視界確保等の工夫 □ 照明・視界確保等の工夫 □ 遅極車両・施工機械等の工夫 □ 型枠、反道路、迂回路等の計画・施工の工夫 □ 運搬車両・施工機械等の工夫 □ 型枠、足場、山留め等の仮設関係の工夫 □ 型枠、足場、山留め等の仮設関係の工夫 □ がに間質向上等の工夫 □ がに置する正対の振用による工期短縮等の工夫 □ 仮設施工等の工夫 □ 仮設施工等の工夫 □ 既存施設・近跨等に対する騒音・振動対策等の工夫 □ 既存施設・近跨等に対する騒音・振動対策等の工夫 □ 既存施設・近跨等に対する騒音・振動対策等の工夫 □ 既存施設・近跨等に対する騒音・振動対策等の工夫 □ 保全への配慮による材料選定・施工方法等の工夫 □ 作業の安全性向上のための施工方法等の工夫 □ その他 理由: 詳細評価内容:	000000000000000000000000000000000000000						
		●新技術活用 「新技術活用」においては、以下の5項目により、複数の技術の評価を可能とするが、最大3点の加点とする。 以下の項目の評価にあたっては、活用効果調査表の提出が不要な場合を除き、発注者及び受注者の双方による全ての活用効果調査表、新技術活用計画書・実施報告書等を確認した上で評価する。ただし、加点対象は受注者側から新技術活用を提案した場合のみとし、発注者が指定し活用した場合は加点措置を行わないものとする。 □ NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が一定程度確認できた。※本項目は3点の加点とする。 □ NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が一定程度確認できた。※本項目は2点の加点とする。 □ NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が作来技術技術を活用し、活用の効果が一定程度確認できた。※本項目は1点の加点とする。 □ NETIS登録技術のうち、等後評価実施済み技術(「有用とされる技術」を除く)を活用し、活用の効果が相当程度確認できた。※本項目は2点の加点とする。 □ NETIS登録技術のうち事後評価実施済み技術(「有用とされる技術」を除く)を活用し、活用の効果が一定程度確認できた。※本項目は1点の加点とする。 □ NETIS登録技術のうち事後評価実施済み技術(「有用とされる技術」を除く)を活用し、活用の効果が一定程度確認できた。※本項目は1点の加点とする。 □ その他理由:							
		「準推奨技術」、「評価促進技術」等をいう。 ※複数の技術の評価であたっては、活用した技術数に応じ複数の評価項目を選択することを可能とするが、最大3点の加点とする。 複数の技術が同一の評価項目に該当した場合、該当技術数に対し各項目の加点点数を掛け合わせたものを評価の点数とするが、この場合も 最大3点の加点とする。  ● 品質関係  □ 集計ソフト等の活用と工夫 □ 建築材料・機材の検査・試験に関する工夫 □ 建築材料・機材の検査・試験に関する工夫 □ 応工の検査・試験に関する工夫 □ 品質部録方法の工夫 □ その他 理由:							
		詳細評価内容:							

	●安全衛生関係 □ 安全仮設備等の工夫(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等) □ 安全衛生教育、技術向上講習会等、ミーティング、安全パトロール等に関する工夫 □ 現場事務所、休憩所等の環境向上の工夫 □ 酸欠対策・有毒ガス・可燃ガスの処理または粉塵防止策や作業中の換気等の工夫 □ 周辺道路等の事故防止または一般交通確保等のための工夫 □ 改修工事における既存施設利用者等に対する安全対策の工夫 □ 作業時における作業環境改善等の工夫 □ ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫 □ 理由:  詳細評価内容:				
	●施工管理関係 □ 出来形の管理等に関する工夫 □ 施工計画書または写真記録等に関する工夫 □ 出来形・品質に関する計測等の工夫及び集計の工夫 □ 出来形・品質に関する計測等の工夫及び集計の工夫 □ 品工合理化技術 (※ 5) を活用した施工管理の工夫 □ をの他 理由:  詳細評価内容:			00000	
	●その他 理由: □ その他 理由: □ その他 理由: □ その他 理由: □ 詳細評価内容:				
記述評価 【■マークを付した キーワー/項目につ いて、評価内容を詳 細記述】					

※1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。 ※2. 該当する数と重みを勘案して評価する。1項目1点を目安とするが、項目により1、2、3点で評価し、最大7点の加点評価とする。 ※3. 上記の考査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体の内容を記載して加点する。

※3. 上記の考章項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体の内容を記載して加点する。 なお、工事担当課長が評価する「工事特性」との二重評価は行わない。 ※4. レ点を付した評価対象項目について、評価内容及び効果があった内容を詳細評価内容欄に記載する。 ※5. 施工合理化技術(プレハブ化、ユニット化、自動化施工(ICT施工、ロボット活用等)、BIM、ASP等を活用したもので施工の合理化に資するものに限る。)を採用した場合。 ※6. 考查項目「創意工夫」の「●準備片付け関係」・「●施工関係」・「●全全衛生関係」の4つの細別ごとに、施工合理化技術を活用して効果があった場合に、その他理由に具体の内容を記載して加点する。 さらに、当該技術がNETIS登録技術である場合は「●新技術活用」□その他の項目に追加で加点できるものとする。

別紙-2①

#### 考 香 項 月 別 運 用 表 (建築丁事)

(工事担当課長)

別紙-2①			ろ 盆 垻 日 別	理 用 衣(建梁上争)		(工事担当課			
考查項目	細 別	а	b	С	d	е			
. 施工状況 II	I. 工程管理	□ 優れている	□ 良好である	□ 適切である	□ やや不適切である	□ 不適切である			
		●下記の該当項目をチェックしたう	えで右欄にて総合評価を行うこと。		●下記の目安を参考として総合的に評価する。(必ずチェックすること				
		□ 現場又は施工条件の変更等によるエ	期的な制約がある中で、余裕をもって工	事を完成させた。	Oa 該当項目が 4 項目以上				
		□ 隣接又は同一現場の他工事等との程	極的な工程調整を行い、トラブルを回避	した。	Ob 該当項目が3項目以上				
		□ 近隣住民(入居官署等を含む)調整	を積極的に行い、トラブルも少なく、エ	期内に工事を完成させた。	Oc該当項目が1項目以上				
		□ 配置技術者(現場代理人/監理技術者	・/主任技術者)の積極的な工程管理の姿勢	○ d 工程管理がやや不適切である					
		□ その他 理由:			○ e 工程管理が不適切である				
		詳細評価内容: ※1. 工事担当課長は、監督員の意見をき ※2. 評価にあたっては評価対象項目のラスを ※3. チェックした評価対象項目について	エックの数にとらわれず、一項目でも評	価する内容が充実している場合は、総合に					

別紙-2②

#### 考 杳 項 目 別 運 用 表 (建築工事)

(工事担当課長)

01/144 22			7 且 仅 口 小	连 用 孜(连条工事)		(工事)正当10		
考查項目	細 別	a	b	С	d	е		
2. 施工状況 Ⅲ. 安全対策	□ 優れている	□ 良好である	□ 適切である	□ やや不適切である	□ 不適切である			
		●下記の該当項目をチェックしたう	えで右欄にて総合評価を行うこと。		●下記の目安を参考として総合的に記	評価する。 (必ずチェックすること)		
		□ 建設労働災害、公衆災害の防止への	努力が顕著である。	○ a 該当項目が 5 項目以上				
		□ 安全衛生管理体制を確立し、組織的	に取り組んでいる。	○ b 該当項目が 3 項目以上				
		□ 安全衛生管理活動が、適切に実施さ	れている。	〇 c 該当項目が1項目以上				
	□ 安全管理に関する技術開発や創意□	E夫に取り組んでいる。		○ d 安全管理がやや不適切である				
	□ 安全協議会活動に積極的に取り組ん	っている。		○ e 安全管理が不適切である				
		□ その他 理由:						
		詳細評価内容:						
		※1.工事担当課長は、監督員の意見を参考に総括的な評価を行う。(監1シートの別紙−1③Ⅲ.安全対策も確認する。)						
		※2. 評価にあたっては評価対象項目のチェックの数にとらわれず、一項目でも評価する内容が充実している場合は、総合的な視点で判断し評価する。						
		※3. チェックした評価対象項目について	て、評価した内容及び効果があった内容を	:詳細評価内容欄に記載する。				

			至 川 衣 (在来工事)
考查項目	細別	対応事項	【事例】具体的な施工条件等への対応事例
4. 工事特性	I. 施工条件等への 対応	●建物規模への対応	
		※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。	詳細評価內容:
		●建物固有の機能の難しさへの対応 □対象建物の耐震レベル □建物機能の特殊性 □ その他 理由:	・建築工事で官庁施設の総合耐震・対津波計画基準において I 類及びA類に属する工事 ・電気又は暖冷房衛生設備工事で官庁施設の総合耐震・対津波計画基準において甲類に属する工事 ・研究施設、美術館等、特殊機能・設備の有る建物
		※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。	詳細評価內容:
		●建物固有の施工技術の難しさへの対応	・パイロット工事又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事 ・特殊な工法及び材料等を採用した工事 ・特殊な設備システムを採用した工事 ・免農装置を設ける工事 ・大規模な山留め工法が必要な工事 ・東地内又は周辺部の工作物、配管・配線等の大規模な移設、切り回しを行う工事 ・仮設備等を設け、システムを停止することなく配管・配線等の大規模な盛替え等を必要とする改修工事
		※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。	詳細評価內容:
		●厳しい自然・地盤条件への対応 □ 湧水の発生、地下水の影響 (地盤掘削時) □ 軟弱地盤、支持地盤の影響 □ 雨・雪・風・気温等の影響 □ その他 理由:	<ul> <li>地下水位が高く、ウェルポイント等の排水設備が必要な工事</li> <li>液状化対策工法や地盤改良を伴う工事</li> <li>冬期施工のための、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事</li> </ul>
		※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。	詳細評価內容:
		●厳しい周辺環境、社会条件との対応 □ 地中埋設物等の作業障害 □ 工事の影響に配慮すべき建物等の近接物 □ 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮 □ 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 □ その他 理由:	・工事に支障をきたす地中埋設物、酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事 ・工事場所周辺に近接工事があり、困難な調整を要する工事 ・場内に汚水処理装置(水替え)を必要とする工事 ・住居専用地域等で、騒音などの時間規制が条例で定められている工事 ・有線電気通信法による届出が必要なテレビ電波障害対策工事で、困難な調整を行った工事
		※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。	詳細評価內容:
		●施工現場での対応 【長期工事における安全確保への対応】  □ 12ヶ月を超える工期で事故が無く完成した工事(ただし全面一時中止期間は除く) 【災害等での臨機の措置】 □ 地震、合風などにおいて、適切に臨機の対応を行った工事 【施工状況(条件)に対応した施工・工法等】 □ 工事の実施にあたり各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施行の制限を受けた工事 □ 体日・夜間作業が工程の過半を超える工事 □ 施設を使用しながらの工事で、工程的な制約が特に厳しい工事 □ 特に困難な調整を要する他工事(近接工区)の受注者が複数ある工事 □ 特に困難な調整を要する他工事(近接工区)の受注者が複数ある工事 □ 特に困難な調整を要する他工事(近接工区)の受注者が複数ある工事 □ 特に困難な調整を要する他工事(近接工区)の受注者が複数ある工事 □ 特に困難な調整を要する工事 □ 特に困難な調整を要する工事 □ 特に対して、工程が輻輳し困難な調整を要する工事 □ 南本 エードが狭く、高さ制限もあり、施行及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事 □ 同一敷地内における施設を使用しながらの建て替え工事で、工程の制約等が特に厳しい工事 □ その他 理由:	
		※上記の対応事項に1つにレ点が付けば4点の加点とし、最大10点とする。	詳細評価內容:
	評価	評点: <b>0点</b>	

- ※1. 工事特性は、最大20点の加点評価とする。なお、1項目の複数の内容がある場合又は、対象範囲が広い場合は、それ以上の点数を与えても良い。 ※3. 監督員が評価する「創意工夫」との二重評価は行わない。 ※2. 評価にあたっては、監督員等の意見も参考に評価する。 ※4. レ点を付した評価対象項目について、評価内容を詳細評価内容欄に記載する。

別紙-24

#### 考 香 項 月 別 運 用 表 (建築丁事)

(工事担当課長)

<b>加机 2</b> 9			7 且 仅 口 加	<u></u>		(工事正当味)				
考查項目	細 別	a	a '	b	b '	С				
6. 社会性等 I. 地域への貢献等	□ 優れている	□ やや優れている	□ 良好である	□ やや良好である	□ 他の評価に該当しない					
		●下記の該当項目をチェックしたう	うえで右欄にて総合評価を行うこと。		●下記の目安を参考として総合的に	評価する。(必ずチェックすること)				
		□災害時等に地域への救援活動等に協	易力した。		Oa 該当項目が5項目					
		□ 周辺地域の環境保全、生物保護等に	こついて、具体的な対策をした。	Oa'該当項目が4項目						
		□ 現場事務所や作業現場の環境を周辺	型地域との景観に合わせる等、周辺地域と	Ob 該当項目が3項目						
		□ 広報活動や現場見学会等を実施して	こ、地域とのコミュニケーションを図った	〇b'該当項目が2項目						
		□ 地域イベントへの協力やボランティ	ア活動等への協力や参加をした。	〇 c 該当項目が 0 項目又は 1 項目						
		□ その他 理由:								
		詳細評価内容:								
		※ 1. 工事担当課長は、監督員の意見を参考に総括的な評価を行う。								
		※2. 評価にあたっては評価対象項目のチェックの数にとらわれず、一項目でも評価する内容が充実している場合は、総合的な視点で判断し評価する。								
		※3. 地域への貢献等とは、工事の施工に伴って、地域社会や住民に対する配慮等の貢献について加点評価する。								
		※4. チェックした評価対象項目について、評価した内容及び効果があった内容を詳細評価内容欄に記載する。								

考 査 項 目 7. 法令遵守等

●土木・建築工事

共通

法令遵守等の該当項目一覧表 措置内容 措置点数 総合点数 O 1. 指名停止3ヶ月以上 -20点 〇 2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満 -15点 0 3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満 -13点 4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満 -10点 0 ○ 5. 文書注意(改善指示) - 8点 0 O 6. 口頭注意 - 5点 0 ○ 7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なた - 3点 め、口頭注意以上の処分が行われなかった場合 ○ 8. その他 理由: (必ず右の欄に直接入力すること。) ○ 9. 該当項目なし ※該当項目なしの場合はチェックを入れる

減点 0点

- ① 本考査項目(7.法令遵守等)での評価は、施工にあたって工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった場合に適用する。
- ② 「施工」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。
- ③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、請負会社の現場従事職員及び当該工事にあたって下請負人として契約し、 それを履行するために当該工事現場に従事する者に限定する。
- ④ 総合評価落札方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、上表の「8. その他」で減ずる措置を行う。

#### 【上記で評価する場合の適応事例】

- 1. 入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。
- 2. 承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。
- 3. 使用人に関する労働条件に問題があり送検された。
- 4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明した。
- 5. 当該工事関係者が贈収賄等により逮捕又は公訴された。
- 6. 一括下請や技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。
- 7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検等された。
- 8. 労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。
- 9. 監督又は検査の実施を、不当な圧力をかけるなどにより妨げた。
- 10. 下請代金を期日以内に支払っていない、不当に下請代金の額を減じているなどの下請代金支払遅延等防止法第4条に規定する親事業者の遵守事項に違反する行為がある。
- 11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕又は送検された。
- 12. 受注企業の社員に「指定暴力団」又は「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等の暴力団関係者がいることが判明した。
- 13. 下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」第9条に記されている砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの 受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。
- 14. 安全管理が不適切であったことから死傷者を生じさせた工事関係者事故又は重大な損害を与えた公衆災害を起こした。
- 15. 受注者が社会保険等未加入建設業者の一次下請負人と契約を締結した。(措置内容については、指名停止等の区分による)

考查項目	細 別	a	b	c	d	е			
2. 施工状況	I. 施工管理	□ 優れている	□ 良好である	□ 適切である	□ やや不適切である	□ 不適切である			
		●評価対象項目							
	□ □ 契約書第18条に基づく設計図書の服	R査結果を、適切に処理していることが確	□ 施工管理に関して、監督員から文 書による改善指示を行った。	□ 施工管理に関して、監督員からの 文書による改善指示に従わなかっ					
		□□施工計画書が、設計図書及び現場系	条件を反映した内容となっていることが確	音による以音曲がを打った。	た。				
		□□施工計画書に、出来形・品質確保の	つための記載があり、管理のための方法が	確認できる。					
		□□施工計画書の記載内容と現場施工力	方法が、一致していることが確認できる。						
		□□工事記録の整備が、適切に行われて	ていることが確認できる。						
		□□使用する材料、機材の搬入後の管理							
		□□一工程の施工の確認の報告が、適り							
		□□建設廃棄物の処分及び建設副産物等							
		□□社内検査が計画的に行われ、出来用							
		□ □ 独自のチェックリスト等の管理基準							
		□□工事の関係書類及び資料の整理がよ							
		□□その他 理由:							
		●判断基準	① 当該「評価対象項目」のうち、対象とし	ない項目は削除する。					
評価値	評価値	評価値が90%以上・・・・・a	② 削除項目のある場合は削除後の評価項目	数を母数として計算した比率(%)計算の値で	評価する。				
		評価値が80%以上90%未満・・・b	③ 評価値( %)=該当項目数( )/評						
		評価値が60%以上80%未満・・・c	④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目	以下の場合はc評価とする。					
		評価値が60%未満・・・・・・d							

考查項目	細別	a	a '	b b	b'	c	d	е
	I. 出来形	□ 特に優れている	□ 優れている	□ 特に良好である	□ 良好である	□ 適切である	□ やや不適切である	□ 不適切である
3. 出来形及び 出来ばえ	建築 (AEM共通)	●評価対象項目						
дуктоге		□□ 承諾図等が、設計	十図書を満足しているこ	とが確認できる。	□出来形の管理に関して、監督	□出来形が不適切であったた		
		□□ 施工図等が、設計	十図書を満足しているこ	とが確認できる。	員が文書で指示を行い改善された。	め、検査職員が補修指示を 行った。		
		□□ 施工計画書等で出	出来形の管理基準を設定					
		□□ 出来形の管理記録	录の整備が、良好である。					
		□□ 出来形の管理方法	去が、工夫されているこ <sub>。</sub>	とが確認できる。				
		□□ 現場における出来	k形が設計図書を満足し、	適切な施工であること	が確認できる。			
		□□ 現場における出来	k形が良好で、施工の精!	度が高い。				
		□□ 不可視部分となる	る出来形が、工事写真、カ	施工記録により確認でき	る。			
		□□ 解体又は撤去工事	事の場合、撤去対象物の	範囲等が確認でき、適切	な処分をしていること:	が確認できる。		
		□□ その他 理由:						
							-	1
		●判断基準		① 当該「評価対象項目」	のうち、対象としない	<b>頁目は削除する。</b>		
	評価値	評価値が90%以上・	a	② 削除項目のある場合/	は削除後の評価項目数を	母数として計算した比率(%)計算の値で評	価する。	
		評価値が80%以上90	)%未満・・・a'	③ 評価値(%)=該	当項目数 ( ) /評価対	象項目数 ( )		
		評価値が70%以上80	)%未満・・・b	④ なお、削除後の評価を	対象項目数が2項目以下(	の場合は c 評価とする。		
		評価値が60%以上70	)%未満・・・b'					
		評価値が50%以上60	%未満・・・c	※1. 出来形の対象は「木	オ料、機材」と「施工の	<b>完了したもの」であり、工事目的物の形状</b>	:、寸法、	
		評価値が50%未満・	d	位置、数量並びに管理記録	录と設計図書を対比する	ことにより評価を行う。		
		that there's \ \circ \	-					
L	<u> </u>	I						

別紙-3③

#### 考 査 項 目 別 運 用 表 (建築工事)

考查項目 細 a Ⅱ. 品質 □ 特に優れている □ 優れている □ 特に良好である □ 良好である □ 適切である □ やや不適切である □ 不適切である 3. 出来形及び 出来ばえ 必須 ●評定に対応するシートを下記の中から必ず選択(チェック)して、以降の該当シートに記入すること。 〇建築工事のみ ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目はチェックしない。 ② 評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ○電気設備工事・受変電設備工事のみ ③ 評価値(%)=該当項目数()/評価対象項目数() ④ なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ○暖冷房衛生設備工事・機械設備工事のみ ※1. 目的物の品質の水準を評価すること。 ※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、 工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。 〇 複合工事(下記より選択) ※選択した考査項目運用表にチェック ※3.1つの工事の中に建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等の工種が2以上複合している工事 □ 建築工事 については、原則として、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によるものとする。 □電気設備工事・受変電設備工事 ただし、その工事において複合している工種のうち、規模が小さく評定に影響を与えない工種については、 □ 暖冷房衛生設備工事・機械設備工事 この限りでない。 (例:改修工事等において含まれる軽微な付帯する工種) ※上記で選択されたシートが工事成績評定書に反映される。 Ⅲ. 出来ばえ □ 良好である □ 優れている □ 適切である □ 劣っている 総合 ※上記で選択されたシートが工事成績評定書に反映される。 ●判断基準 評価値が90%以上・・・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・b 評価値が80%未満・・・・・c

(検査員)

(検査員)

考查項目	細 別	a	a'	b	b'	С	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ II. 品質 建築工事		□ 特に優れている	□ 優れている	□ 特に良好である	□ 良好である	□ 適切である	□ やや不適切である	□ 不適切である
3. 出来形及び出来ばえ		●評価対象項目 □□材料・製品の品質 □□材料・製品の品質に □□材料の品質の確認結果が □□は工の品質が適適 □□建具、ユニットで □□対外仕上げ工事における □□はの出でのとなる。 □□はの対象は、「相関の対象は、「相関の対象は、「相関の対象は、「相関の対象は、「相関の対象は、「相関の対象は、「相関の対象は、「相関の対象は、「相関をして、に対し、その工事においては、原則として、ただし、その工事においては、原則として、ただし、その工事においては、不可能には、アローを表し、では、アローを表し、で表し、その工事においては、原則として、ただし、その工事においては、原則として、ただし、その工事においては、原則として、ただし、その工事においては、原則として、ただし、その工事においては、原則として、ただし、その工事においては、原則として、ただし、その工事においては、原則として、ないては、原則として、ないては、原則として、ただし、その工事においては、原則として、たて、ないて、対象には、対象には、対象には、対象には、対象には、対象には、対象には、対象には	質が、製作図面等によりでは、製作図面等によりでは、製作図面等によりでは、分かりやすく整理を満ったの性能及質が、出質が、上型を設定が、上型を設定とは、一型を対して、大型を対して、対型を対型を対して、対型を対型を対して、対型を対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対しで、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対しで、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対して、対型を対しで、対しで、対して、対しでは、対して、対しで、対しでは、対して、対しでは、対しでは、対しでは、対しでは、対しでは、対しでは、対しでは、対して、対しでは、対しでは、対して、対しでは、対し、対しでは、対し、対しでは、対しでは、対しでは、対しでは、対しで	推認でき、設計図書を満 記録の方法が、適切であっ ることが確認できる。 れていることが確認でき 足していることが確認でき る確認方法が適切であり、 最等により確認でき、良好 電工記録等により確認で	としていることが確認できる。  る。 ことが確認できる。  る。 記録の内容が設計図書 呼であることが確認とが確認とが確認とが確認とが確認とが確認とが確認とが確認とがあることが再認とが確認できる。  む)」があり、 により技術的な評価を行う 種が2以上複合しているこの を与えない工種についてに 種)  のうち、評価対象外の項 に計算した比率(%)計算 4項目数( ) /評価対象	きる。 を満足していることが確認できる。 る。 認できる。 でき、良好であることが確認できる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	□ やや不適切である □ 品質管理に関して、監督員が 文書で指示を行い改善され た。	□ 不適切である □ 品質が不適切であったため、検査職員が補修指示を行った。
	Ⅲ. 出来ば <sup>ラ</sup>	□ 優れている		□ 良好である		□ 適切である	□ 劣っている	
III. 出来ばえ 建築工事		□ □ 関連工事(工種) □ □ 使い勝手や使用者 □ □ 仕上がりの状態か	こがなされ、取り合いの糸 又は既存部分との調整が その安全に対する考慮に が良好で、作動状態も良好 い、色むら等が無く、全体 が大で通り等が良く、全体 を正がなされている。	□出来ばえが劣っている。				
	評価値	●判断基準 評価値が90%以上・ 評価値が80%以上90 評価値が80%未満・	・・・・・a %未満・・・b	<ol> <li>当該「評価対象項目」</li> <li>評価項目数を母数とし</li> <li>評価値(%)=該当</li> <li>なお、評価対象項目</li> </ol>	て計算した比率(%)計算 4項目数 ( ) /評価対象	の値で評価する。 項目数 ( )		

別紙-3⑤

別紙 - 3 ⑤				一		1 衣(建築工事)	-	(快宜貝)
考查項目	細 別	a	a'	b	b'	С	d	e
3. 出来形及び	Ⅱ. 品質	□ 特に優れている	□ やや不適切である	□ 不適切である				
出来ばえ	電気設備工事・	●評価対象項目						
	受変電設備工事	□□機材の品質が、承	:諾図等により確認でき	、設計図書を満足してい	□ 品質管理に関して、監督員が	<ul><li>□ 品質が不適切であったため、</li></ul>		
				*記録の方法が、適切であ	文書で指示を行い改善され	検査職員が補修指示を行っ た。		
		□□機材の品質確認記		た。	/			
		□□品質の確認結果が						
		□□施工の品質が適切						
		□□施工の品質が、試						
						書を満足していることが確認できる。		
		□ □ システムの性能及	び機能に関する試運転					
		□ □ 不可視部分となる	品質が、工事写真、施	工記録により確認できる	o o			
		□ □ 中間技術検査や既	済検査での工夫や良好					
		□□運転・点検上の表						
		□□その他 理由:	小人の心候画がなこい	- 3X/ハ・サル・ウIPE C/开ラ ( )	v .0			
		口口での他 理由:						
		※1. 目的物の品質の水準						
		※2. 品質の対象は、「ホ						
		工事目的物の品質及び品質	賃管理に関する各種の記録	录と設計図書を対比すること	とにより技術的な評価を行	5.		
		※3. 1つの工事の中に殖	建築工事・電気設備工事・	<ul><li>・暖冷房衛生設備工事等の</li></ul>	E種が2以上複合している	<b>工事</b>		
		については、原則として、						
				。 、規模が小さく評定に影響				
					●セサんなV・工種に フV・CI	4,		
		この限りでない。(例:こ	(修工事等にわいて召よ)	しつ軽俶な竹帘する工種)				
		A character state Natio		0				
		●判断基準			」のうち、評価対象外の項			
	評価値	評価値が90%以上・	• • • • • a	② 評価項目数を母数と	して計算した比率(%)計算	の値で評価する。		
		評価値が80%以上90%	%未満・・・a'					
		評価値が70%以上80%						
		評価値が60%以上70%						
		評価値が50%以上60%	%未満・・・c					
		評価値が50%未満・						
		primites on the second						
	Ⅲ. 出来ばえ	□ 優れている		□ 良好である		□ 適切である	□ 劣っている	
	電気設備工事・							
	受変電設備工事	□□きめ細やかな施工	がなされている。		□出来ばえが劣っている。			
			-	がなされ、調和が良い仕	・トがりでなる			
		□□機器又はシステム						
		□□ 機器又はシステム	として、理転状態が止	:吊じめり、性能が慢和し	いる。			
		□□環境負荷低減への	対策が優れている。					
		□□ 運転操作及び保守	:点検等の容易さを確保	:するための配慮がなされ	ている。			
		□□ その他 理由:						
		Med Bilder - Hele Salde		0 vat [#####====	」のうち、評価対象外の項	Dud by by		
1		●判断基準						
	評価値		90%以上・・・・・a ② 評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。					
		評価値が80%以上90%	%未満・・・b	③ 評価値(%)=該	当項目数 ( ) /評価対象	項目数( )		
		評価値が80%未満・	• • • • • c	④ なお、評価対象項目	数が2項目以下の場合は c	評価とする。		
	1	1						
		L					I	

別紙-36

考查項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	е		
3. 出来形及び 出来ばえ II. 品質 暖冷房衛生設備 工事・機械設備 工事	□ 特に優れている	□ 優れている	□ 特に良好である	□ 良好である	□ 適切である	□ やや不適切である	□ 不適切である			
出来ばえ 暖冷房衛生設 工事・機械設		●評価対象項目								
	上事・機械設備	□□機材の品質が、承	は諾図等により確認でき、	設計図書を満足している	ることが確認できる。		□品質管理に関して、監督員が	□ 品質が不適切であったため、		
	7.7			記録の方法が、適切である			文書で指示を行い改善された。	検査職員が補修指示を行っ た。		
		□□機材の品質確認記	2録の内容が、適切である	ることが確認できる。			/	/=0		
		□□品質の確認結果が								
				足していることが確認で						
				录により、優れているこ。						
		□□システムの性能及	び機能に関する試運転の	D確認方法が適切であり.	記録の内容が、設計図	書を満足していることが確認できる。				
		□□システムの性能及	び機能に関する試運転の	の確認方法に工夫がある。	And the teacher					
		□□不可視部分となる	品質が、工事写真、施7	L記録により確認できる。						
		□□申問技術检査や問	F済給杏での丁去や良好が	な施工の品質が、継続して	て確認できる。					
		□□運転・点輪上の表	示及び合降衡所などの表	長示等が明確で解りやすい	().					
		□□その他 理由:	(11)X 0 /L  X    /	2.1.1.0 STREE C/11 S C S .						
		COME PERMIT								
		※1.機械設備工事とは、	エレベーター エスカレ	ター設備工車等の建設業	注における機械器 E 設置 T	事をいう				
		<ul><li>※2. 目的物の品質の水準</li></ul>		/ 阪州エチザの定版米	以(10401) 公从(以前天队直上	-# e v / 0				
				了したもの(システムを含	tn) 」があり					
				と設計図書を対比すること	· ·					
		※4. 1つの工事の中に対								
		については、原則として、それぞれの工種毎に評価し、工事費内訳による加重平均などの方法によるものとする。 ただし、その工事において複合している工種のうち、規模が小さく評定に影響を与えない工種については、								
				まれる軽微な付帯する工		•				
		C 17 19 C 19 (17)	. WID T # 41C401 CI	X400E[M-X11111 / O.L.	1997			†		
		●判断基準								
	評価値	評価値が90%以上・		<ol> <li>当該「評価対象項目」</li> <li>評価項目数を母数と」</li> </ol>						
	H I IIM IEE	評価値が90%以上・・・・・・a ② 評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 評価値が80%以上90%未満・・・a' ③ 評価値 ( %) = 該当項目数 ( ) /評価対象項目数 ( )								
		評価値が70%以上80%未満・・・b 4 なお、評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。								
		評価値が60%以上70%未満・・・b'								
		評価値が50%以上60								
		評価値が50%未満・								
		,								
	Ⅲ. 出来ばえ	□ 優れている		□ 良好である		□ 適切である	□ 劣っている			
	暖冷房衛生設備									
Ⅲ. 出来ばえ 暖冷房衛生設 工事・機械設	工事・機械設備工事	□□ きめ細やかな施工	こがなされている。				□ 出来ばえが劣っている。			
				ぶなされ、調和が良い仕_						
				常であり、性能が優れてい	いる。					
		□□環境負荷低減への								
		□□運転操作及び保守	F点検等の容易さを確保す	するための配慮がなされ、	ている。					
		□□ その他 理由:								
		●判断基準		① 当該「評価対象項目」						
	評価値	評価値が90%以上・		② 評価項目数を母数とし						
		評価値が80%以上90		③ 評価値(%)=該当						
		評価値が80%未満・	· · · · · · c	④ なお、評価対象項目数	枚が2項目以下の場合は c ≥	平価とする。				

別紙-3⑦

考 査 項 目 別 運 用 表 (建築工事)

(検査員)

				<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>		1		()(111)()
考查項目	細 別	a	a'	b	b'	С	d	е
	Ⅱ. 品質	□ 特に優れている	□ 優れている	□ 特に良好である	□ 良好である	□ 適切である	□ やや不適切である	□ 不適切である
3. 出来形及び 出来ばえ	複合工事	●必ず下記の平均値	よりチェックする。				●1工種でも該当があれば、チェックする。	<ul><li>●1工種でも該当があれば、チェックする。</li></ul>
дуктогс	最大3工種			□品質の管理に関して、監督員	□品質が不適切であったため、			
		〇 評価値が90%以」	Ŀ····a		が文書で指示を行い改善された。	検査職員が補修指示を行った。		
		○ 評価値が80%以上	上90%未満・・・a'					
		○ 評価値が70%以上	上80%未満・・・b					
		○ 評価値が60%以」	上70%未満・・・b'					
		○ 評価値が50%以上	上60%未満・・・c					
		<ul><li>評価値が50%未満</li></ul>	<b>觜・・・・・</b> d					
		●必ず下記の枠に工	事費比率(0も記入)を	記入する。				
		工事費比率	該当項目率	加重平均評価値				
		建築						
		電気						
		機械			%			
		<b>-</b>						

別紙-38

## 考 査 項 目 別 運 用 表 (建築工事)

771/A				7 4 7		<b>┸</b> ┱/		,	<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>
考查項目	細 別	a		b	С		d		_
3. 出来形及び	Ⅲ. 出来ばえ	□ 優れている		良好である	□ 適切である	□ 劣っている			
出来ばえ	複合工事	●必ず下記の平均値よ	こりチェックする。		•		oれば、チェックする。		
最大3工種					□出来栄えが	□出来栄えが劣っている。			
	〇評価値が90%以上	a							
		○評価値が80%以上9	90%未満・・・b						
		〇評価値が80%未満	· · · · · · · c						
		●必ず下記の枠に工事	<b>5費</b> 比率(0も記入)を記力	<b>くする。</b>					
		工事費比率	該当項目率	加重平均評価値					
		建築							
		電気							
		機械		4	6				
		•	<b>'</b>						

(検査員)